

1・2・3・4面 国際福祉機器展H.C.R.2022「福祉用具専門相談員への提言」

5面 福祉用具サービス計画SV養成研修会 大阪より集合研修再開

6面 ブロック活動報告

8面 日本福祉用具供給事業者連盟 公明党「福祉用具議員懇話会」で要望

※「知識Plus」「住宅改修事例」は休載させていただきます



岩元 文雄 氏  
(いわもと ふみお)  
本会理事長

開会にあたり岩元理事長は、「新型コロナウイルスの感染状況もまだ落ち着いたとはいえない中、久しぶりに、会場形式のセミナーを開催できることを本当に嬉しく思う」と述べた。ふくせんが平成23年度から毎年受託している老健事業に関して、その実施の際には会員をはじめとする人々へ広く協力を仰いでいるが、

去る10月5日(金)、本会は、国際福祉機器展H.C.R.2022初日に、ふくせんセミナー「老健事業の報告と福祉用具専門相談員への提言」を開催した。令和3年度に行った老健事業「サービスの質の向上に向けた福祉用具貸与計画書における項目の標準化に関する調査研究事業」の成果物、改編「ふくせん福祉用具サービス計画書等」について報告。その内容や事業背景を踏まえた、今後あるべき福祉用具専門相談員の姿について意見が交わされた。

※老健事業：厚生労働省老人保健事業推進等補助金による調査研究事業

その結果を周知することもこれから介護保険制度や福祉用具について考える上でとても重要だと考えていると語った。

### ■令和3年度老健事業の報告

ふくせん様式を改編…2年度事業で明らかになった課題解決を目指す

ふくせんでは、福祉用具貸与計画書やモニタリングシートの様式を開発・公開している。令和2年度の老健事業「福祉用具サービスの質の評価データ収集等に係る調査研究事業」で、現状の記録についての課題が明らかとなった。令和3年度の老健事業「サービスの質の向上に向け

国際福祉機器展H.C.R.2022ふくせんセミナー(10/5 in東京)  
厳しい社会状況下でもサービスの質の向上“を目指した取り組みを福祉用具サービス計画書(ふくせん様式)改編のポイントを踏まえた福祉用具専門相談員への提言とは



新型コロナウイルス感染対策をしながらも積極的な参加がみられた会場

た福祉用具貸与計画書における項目の標準化に関する調査研究事業」では、その課題解決と福祉用具貸与サービスの質の評価・検討のため、記録項目の見直し、見える化・標準化に向けた記載内容の基準設定など